

2021 年度 織田製菓専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 3 年度)

評価対象期間

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

織田製菓専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2021年（令和3年）4月1日～3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告を元とした織田製菓専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会および飲食業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2022年4月25日（月）15：00～16：30

会場：織田学園第8校舎 グリーンホール

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	元高等学校教員
古谷 健	(株)スーパーキタムラ	パン製造責任者、ブーランジェ	卒業生、元教員
藤野 絵美	フリーランス	フランス語通訳	外部講師

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	3名

各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	
学校の教育理念に沿った①アドミッションポリシー ②カリキュラムポリシー ③ディプロマポリシーを設定または改訂できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 学校案内・HP で織田製菓専門学校の強みを明記している点が評価できる。
- 既に明文化されているとある 3 つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）についても HP で公開するのが望ましい。
- 普遍的な教育理念や目標の軸はぶれることなく、時代に沿った対応をしている面も持ち合わせていると感じる。
- 業界で活躍している講師を迎え生の現場の声を聞ける教育環境は、学生が時代や社会情勢の変化を掴みやすく評価できる。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価（学校関係者評価委員会）を有効に活用できたか。	4	
カリキュラムや学習環境が正しく機能しているか検証・見直し、修正されたか。	4	
選択科目について、時代に合わせた内容に変化させ充実を図ったか。	4	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	

<ご意見・評価等>

- 概ね適切に学校運営が成り立っていると思われる。
- 業界のニーズを取り入れカリキュラムに活かす努力を続けていただきたい。
- 学生からの授業評価を実施し、より良くできる点を把握してカリキュラムに反映する姿勢を取るのが望ましい。
- 変化する時代に合ったカリキュラムを取り入れていて評価できる。
- 選択科目の充実はより得意な分野や個性も出せるので良いと感じる。
- 学校を訪れた際に元気な挨拶のできる学生ばかりだった。マスク生活が長くなり、コミュニケーションを取るのが苦手な若者が増えている中でとても喜ばしい。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。	4	適切 3名
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	
実践的な職業教育（産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	
授業評価を実施し、その評価体制はあるか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 授業は企業との連携も含め、実践的な職業教育が行われていると判断できる。
- 先も挙げたが学生からの授業評価の実施が望ましい。
- 対面授業とオンライン授業を効率的に組み合わせることの検討も進めてもらいたい。
- コロナ禍ではあったが、感染症対策に気を配りつつ、通常通りの授業運営や校内コンクールを開催できたことが評価できる。
- 製造販売実習は、製造して販売するまでの全工程を学べる、お客様から直接感想をいただけるという2点において改めて貴重な授業だと感じる。
- セミナーやコンクールの参加など、学外にも足を運んで学びを深められる環境は評価できる。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	4	

<ご意見・評価等>

- コロナ禍で就職が厳しくなっている業界もあるので、就職支援にはとりわけ力を入れ、学生の将来を見据えた指導に邁進していただきたい。
- 生活面や精神面で学習の継続が困難になる学生もいると思われるので、その支援も継続していただきたい。
- 以前から変わらず、休み時間でも気軽に学生が質問しやすい環境が整っていると感じる。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	2	適切 3名
学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	3	
卒業生への支援体制はあるか。	4	
学生情報の教職員間での共有は効果的に行えたか。	4	
保護者との連携は適切だったか。	4	

<ご意見・評価等>

- メンタルヘルス窓口があることは評価できる。
- 子どもの状況を保護者と共有し改善策を講じるなど、家庭と連携して学生を見守る姿勢が見受けられ、面倒見の良い学校というイメージがある。
- 昨年度と比較して退学者が増加したとある。心の問題を抱えた学生に対して、担任やカウンセラーによる相談体制の充実・強化を図っていただきたい。
- 学生や保護者とのコミュニケーション機会の確保は引き続き大切にしていただきたい。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
卒業生・在校生・学校間のネットワーク構築への取り組みについて進捗・改善は見られたか。	4	適切 3名
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	

<ご意見・評価等>

- 在校生だけでなく、卒業生の転職支援なども手厚くサポートしていくことは、これから入学を検討する方にとっても安心をあたえられると考える。
- 基本的な設備に問題はない。
- Wi-Fiの整備を推進し、インターネットを活用することで授業内容をより良くすることを検討していただきたい。
- 教育設備を最新のものにすることも検討していただきたい。
- 防災のための備蓄品は確保に関しては引き続き怠ることのないように管理を徹底していただきたい。
- 留学生の就職に関して、制度的な問題は国に働きかける必要があるが、まずは学校が対応できる範囲を引き続き検討していただきたい。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
OC 参加者の増加は達成できたか。	2	適切 3名
OC からの取り込み率は向上できたか。	3	
学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	3	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	4	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	4	
OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	4	

<ご意見・評価等>

- オープンキャンパスの内容は参加者目線で企画されているように感じる。
- HP、SNS などで情報発信を適切に行っていることは評価できる。オープンキャンパスも学生の協力を得て実施されているとのことで問題はない。
- オープンキャンパスに学生が協力してくれることで参加者はフレンドリーな印象を受け、リラックスして楽しむことができていると考える。
- オープンキャンパスで作ったお菓子やパンの写真を見せ合って、HP や SNS も活用した映えコンテンツなどを企画するのも面白いのではないかと考える。在校生も一緒に参加することで盛り上がると思う。
- 広報物をいつも工夫されていることが伝わる。
- 高校訪問を定期的に行い、高校教員への認知を得る努力、校内ガイダンスへの参加などの取り組みも引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	4	適切
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	3名

<ご意見・評価等>

- 財務情報が HP に公開されていることは評価できる。
- 全教職員に財務状況や中長期計画を周知し、共通理解を図ることが重要である。

【9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	4	適切
自己評価の結果を公開しているか	4	3名

<ご意見・評価等>

- 最新の年度の自己評価報告書、学校関係者評価報告書を HP に公開できるように改善された点は評価できる。
- 過去年度の報告書も閲覧可能な状況を作ることがより望ましいと言える。
- 今後修学支援制度の対象校となった際も十分な情報を WEB サイトで公開すべきである。

【10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか。	4	適切 3名

<ご意見・評価等>

- コロナ禍で学園祭が中止になったことは残念だが、今後は感染症対策を行った上での実施を前向きに検討していただきたい。
- 「なかのまちめぐり」など、地域のイベントが再開された折には積極的に参画していただき、地域貢献に努めていただきたい。
- 製造販売実習「パティスリーオダ」による地域貢献・交流ができていると考える。引き続き実施していただきたい。
- 中野には古くから根付いている学校なので、今後も地域交流の機会を大切にしていきたい。

【11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	2	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 現在の社会情勢の中での国際交流は大変難しいと感じる。
- SNS を活用した海外への発信も視野に入れていただきたい。

○留学生の入国も国の規制緩和で今後は増えてくると思われるので、留学生の受け入れも適切に行っていくことが望まれる。

○国際交流機会の確保は準備を進めておき、再開の目途が立った際に対応できるように努めていただきたい。

5. 総評

○製菓分野に対する高校生の関心はまだ高いと感じることもある。製菓校の特色である「選択科目制」「毎日の実習」のメリットを強調した情報発信を強化し、オープンキャンパス参加者増に繋げていただきたい。

○製菓学校は数が多いので、埋没しないように教育の特色を広く伝えていくことを期待する。

○SDGsの推進については今後もカリキュラムの中にも意識して取り入れるよう推進し、学校の特色のひとつにしていくことを期待する。

○実習や学校行事はリモートでは対応できないため大変な時期だと思う。

○回復傾向にある学校行事をオープンキャンパス参加者へのひとつのアピールポイントとするのも大切であると考えます。

○お菓子やパンは生活に身近で、パティシエやブーランジェは人を笑顔にできる仕事なので、その魅力を広く伝えていただきたい。

○ひとりひとりの学生に手厚いサポートが行き届いており、面倒見の良い学校である。

織田製菓専門学校
学校関係者評価委員会